

三省堂『高等学校国語総合 現代文編』（国総305）評価規準例資料

学習のねらい	紹介される事例を通じて、筆者が述べようとする、「見る」ためには約束事が必要であり、ありのままの世界は見えないということについて読み取る。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	田中真知「ありのままの世界は見えない」	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ア・オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	「世界」の「見え方」の違いについて、事例を通じて考えようとする。	私たちの見ている世界が「関心」に限定されたものであることについて考えを深めようとしている。	行動の観察
読む能力	引用事例に着目し、筆者の主張を読み取る。	引用された事例から、筆者の考えを理解している。	記述の分析
知識・理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとする。	論理的な文章を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読もうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。	論理的な文章を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読んでいる。	記述の分析
知識・理解	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けている。	常用漢字の音訓を正しく読み、主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。	記述の点検

学習のねらい	論旨を正確に追いながら、筆者の言う文化の相違を読み取る。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	山崎正和「水の東西」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1) エ・イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文化の違いについて、日本と西洋の水の比較から考えようとする。	日本と西洋の水の比較から、文化の違いについて考えを深めようとしている。	行動の観察
読む能力	対比表現に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。	鹿おどしと噴水の違いに着目して、日本人と西洋人の水に対する考え方を理解している。	記述の分析
知識・理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言による評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとする。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えている。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。	記述の分析
知識・理解	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けている。	常用漢字の音訓を正しく読み、主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。	記述の点検

学習のねらい	「下人」及び「老婆」のそれぞれの視点を明らかにしながら、〈語り手〉が構成する羅生門という闇の空間の意味を考えていく。		
言語活動	文章を読んで脚本にしたり、古典を現代の物語に書き換えたりすること。〔Cの(2)ア〕		
教材名	芥川龍之介「羅生門」	配当時間	4
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ウ・ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	人物の心情や行動を理解し、場面の推移を捉え、人間の生き方について自分なりの意見を持つとする。	下人の置かれている状況、老婆の考え方、二人の行動や心情の変化、場面の推移を理解し、自分の考えを持つとしている。	行動の観察
読む能力	描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。	比喩表現や語りの視点に注意して、作品世界の状況を把握し、人物の考え方とその変化を理解している。	記述の確認
知識・理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	常用漢字の音訓を正しく読み、主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。	記述の点検

学習のねらい	「わたし」と「くま」との関係性を明らかにしながら、「神様」という題名に込められた意味について考える。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	川上弘美「神様」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ウ・ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	物語の設定を理解し、登場人物の交流のあり方に関心を示す。	「わたし」と「くま」との出会い、その後の交流を通じて、両者の印象の変化について理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。	比喩表現や語りの視点に注意して、作品世界の状況を把握し、人物の考え方とその変化を理解している。	記述の確認
知識・理解	文章の形態や文体の違いによる特色について理解する。	文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	行動の観察

学習のねらい	インターネットがその利便性の背後で生み出した深刻な問題を考察する。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	黒崎政男「ネットが崩す公私の境」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)イ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	電子メディアのもたらした新たな状況について問題意識を持つ。	「誰もが著者になる時代」の困難について理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	対比表現に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。	従来のメディアとインターネットメディアの違いに着目して、「自己」と「世界」のあり方の変容を理解している。	記述の分析
知識・理解	読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。	読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の点検

学習のねらい	「ことば」の「虚構性」や「恣意性」について、さまざまな具体例による説明を的確に理解し、まとめる。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	鈴木孝夫「ものことば」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	「ことば」が本質的に持つ「虚構性」について問題意識を持つ。	「ことば」は「人間に特有な観点」によってもたらされたものであることを理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	引用事例に着目し、筆者の主張を読み取る。	引用された事例から、筆者の考えを理解している。	記述の分析
知識・理解	読むことに必要な概念を理解し、使いこなせる。	読むことに必要な概念を理解し、使いこなせている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を必要に応じて要約しようとする。	目的に応じて、文章全体をまとめようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を必要に応じて要約している。	目的に応じて、文章全体をまとめている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	記述の点検

学習のねらい	「ヒトとクマとの共生」を図るために必要な「自然再生」について理解し、整理する。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	鷺谷いづみ「クマの棲める森」	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)イ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	野生動物をめぐる「保護」と「排除」の矛盾について整理しようとする。	人と野生動物の「共生」に立ちほだかる問題について理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	筆者の体験と考えを踏まえ、「森の再生」が「魂の再生」へとつながっていく論旨を読み取る。	論理の展開から、筆者の考えを理解している。	記述の分析
知識・理解	読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。	読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を必要に応じて詳述しようとする。	目的に応じて、詳しく解説しようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を必要に応じて詳述している。	目的に応じて、詳しく解説している。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立てについて理解している。	記述の点検

学習のねらい	途上国への支援において「何がいちばん必要なのか？」と繰り返し自問する筆者の思考をたどり、国際貢献における大切なことを自分の考えとしてまとめる。		
言語活動	出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。〔Bの(2)イ〕		
教材名	中村安希「子ブタと未来」	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	B書くこと(1)イ・エ		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	相手の立場で考えることの重要性について理解を示し、それを自分の言葉でまとめようとする。	筆者の体験に基づいて、国際貢献で求められることについて理解を示そうとしている。	行動の観察
書く能力	筆者の体験を追認しながら、自己の主張を展開する。	筆者の体験を追認しながら、自己の主張を展開することができる。	記述の分析
知識・理解	書くことに必要な文章の組み立てについて理解する。	書くことに必要な文章の組み立てを使用する方法を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめようとする。	自らの思考の過程を整理し、論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。	行動の観察
書く能力	論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめている。	自らの思考の過程を整理し、論を統括する位置などを工夫して書いている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て，語句の意味，用法及び表記の仕方などを理解し，語彙を豊かにしている。	書くことに必要な文章の組立てについて理解している。	記述の点検

学習のねらい	「生命」は「動的な平衡」であるという筆者の主張を踏まえ、「操作的な介入」を行うことの危険性について具体化し、自分の考えとしてまとめる。		
言語活動	出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。〔Bの(2)イ〕		
教材名	福岡伸一「生物と無生物のあいだ」	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	B 読むこと(1)イ・エ		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	危ういバランスの上に成り立つ生命のありようについて、筆者の体験に基づいてまとめようとする。	筆者の体験に基づいて、生命と向き合う上で求められることについて理解を示そうとしている。	行動の観察
書く能力	身の回りの事象の中からテーマに関連した事柄について調べ、論じる。	客観性や信頼性の高い資料を示しながら論じることができている。	記述の分析
知識・理解	書くことに必要な文章の組み立てについて理解する。	書くことに必要な文章の組み立てを使用する方法を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめようとする。	自分の考えの妥当性を裏付ける，客観性や信頼性の高い資料を用い，自らの論が成り立つ根拠を示そうとしている。	行動の観察
書く能力	論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめている。	自分の考えの妥当性を裏付ける，客観性や信頼性の高い資料を用い，自らの論が成り立つ根拠を示している。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て，語句の意味，用法及び表記の仕方などを理解し，語彙を豊かにしている。	書くことに必要な文章の組立てについて理解している。	記述の点検

学習のねらい	繰り返し朗読することにより、それぞれの作品世界の理解を深め、詩人たちの個性に触れる。				
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕				
教材名	三好達治 「鶯のうへ」 新川和江 「サフラン」	萩原朔太郎 「死なない蝸」 石垣りん 「崖」	<table border="1"> <tr> <td>配当時間</td> <td>2</td> </tr> </table>	配当時間	2
配当時間	2				
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ウ・ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)				

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	詩のもつ独特の韻律に気づこうとする態度を身につける。	繰り返し音読することで詩の韻律に慣れようとしている。	行動の観察
読む能力	描かれている情景を把握し、作者の思いを読みとる。	一つ一つの表現に即して、その意味を明らかにしようとしている。	記述の確認
知識・理解	詩の表現形式や修辞を理解する。	詩の表現形式や修辞について、理解している。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	記述の確認

学習のねらい	近代から現代の代表的作者の手になる二十一首の歌を読み味わい、そこに描かれている情景や作者の心理を読み取る力を養う。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	短歌「その子二十―短歌二十一首」	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ウ・ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	短歌を読み味わう態度を身につける。	理解したそれぞれの短歌の内容を、朗読や鑑賞文に生かそうとしている。	行動の観察・記述の確認
読む能力	それぞれの短歌について、表現されている情景や感動の中心を読み取る。	それぞれの短歌について、その情景や感動の中心について、整理して説明している。	記述の確認
知識・理解	短歌についての基礎的な知識を身につける。	韻律や句切れなどの、短歌の基礎的な構造を理解している。	行動の観察・発言の分析

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物，情景，心情などを，どのように書き手が描いているのかを捉え，言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	行動の観察・記述の確認
読む能力	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わっている。	人物，情景，心情などを，どのように書き手が描いているのかを捉え，言葉の美しさや深さに気付いている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち，表現の特色及び言語の役割などを理解している。	文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	行動の観察・発言の分析

学習のねらい	伝統的短詩型文学である俳句の本質を理解し、俳句の表現方法についても学んでいく。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	俳句「いくたびもー俳句二十一句」	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ウ・ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	俳句を読み味わう態度を身につける。	理解したそれぞれの俳句の内容を、朗読や鑑賞文に生かそうとしている。	行動の観察・記述の確認
読む能力	それぞれの俳句について、表現されている情景や感動の中心を読み取る。	それぞれの俳句について、その情景や感動の中心について、整理して説明している。	記述の確認
知識・理解	俳句についての基礎的な知識を身につける。	季語や切れ字など、俳句の基礎的な式目について理解している。	行動の観察・発言の分析

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	行動の観察・記述の確認
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	行動の観察・発言の分析

学習のねらい	小説の舞台となっている昭和二十年という時代状況を理解し、「私」の「少年工」に対する思いの変化を理解する。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	志賀直哉「灰色の月」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ウ・ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	人物の心情や行動を理解し、場面の推移を捉え、「私」の抱いた気持ちについて考えようとする。	少年工の置かれている状況、「私」の考え方、二人の行動や心情の変化、場面の推移を理解し、自分の考えを持つようとしている。	行動の観察
読む能力	描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。	会話表現や語りの視点に注意して、作品世界の状況を把握し、人物の考え方とその変化を理解している。	記述の確認
知識・理解	作品の舞台となっている時代状況を把握するための知識を身につける。	作品の舞台となっている時代状況を把握するための知識を身につけている。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。	行動の観察

学習のねらい	娘との会話をきっかけにしながら語られる回想を通じて、「私」が「戦争の話を書きつづけている理由」について考える。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	ティム・オブライエン／村上春樹訳「待ち伏せ」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ウ・ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	人物の心情や行動を理解し、場面の推移を捉え、「私」が戦争が終わった今でも抱き続けている気持ちについて考えようとする。	かつて「私」が置かれていた状況とそこで起きた出来事を理解し、自分の考えを持とうとしている。	行動の観察
読む能力	描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。	複数の時制が展開する語りの視点に注意して、作品世界の状況を把握し、人物の考え方とその変化を理解している。	記述の確認
知識・理解	作品の舞台となっている時代状況を把握するための知識を身につける。	作品の舞台となっている時代状況を把握するための知識を身につけている。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えようとしている。	行動の観察

学習のねらい	「余暇」の歴史的な分析と、人間の自由との関わりについて、筆者の主張を論理立てて理解する。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	内山節 「余暇について」	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)エ・イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者が述べる「余暇」の内容について理解を深めようとする。	「余暇」が時間の「消費」ではなく「創造」であるということを理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	論理展開に着目し、筆者の主張を読み取る。	余暇を巡る相反する考えから、筆者の主張を理解しようとしている。	記述の確認
知識・理解	読むことに必要な概念を理解し、使いこなせる。	読むことに必要な概念を理解し、使いこなせている。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとする。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えている。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。	記述の確認
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	行動の観察

学習のねらい	「もの」の科学から「こと」の科学へという思考の転換の必要性を、筆者の主張を通じて理解する。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	池田清彦「『もの』の科学から『こと』の科学へ」	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)エ・イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者が主張を展開するために採用している論理構成を理解しようとする。	筆者が主張を展開するために採用している論理構成を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	引用事例に着目し、筆者の主張を読み取る。	引用された事例から、筆者の考えを理解している。	記述の確認
知識・理解	読むことに必要な概念を理解し、使いこなせる。	読むことに必要な概念を理解し、使いこなせている。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとする。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えている。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。	記述の確認
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	行動の観察

学習のねらい	「情報の商品化」という資本主義の中心原理を理解し、現代という時代について自分なりに説明することができる。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	岩井克人 「マルジャーナの知恵」	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)エ・イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者が述べる、資本主義の本質を理解しようとする。	筆者が述べる、資本主義の本質について理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	引用事例および筆者の論理展開に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。	「アリババと四十人の盗賊」が引用される寓意に着目して、筆者が述べようとする資本主義の本質を理解している。	記述の分析
知識・理解	読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。	読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の点検

学習のねらい	「労働」を巡る筆者の考えを踏まえ、自分の意見を述べる。		
言語活動	出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。〔Bの(2)イ〕		
教材名	内田樹「私たちはなぜ労働するのか」	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	B書くこと(1)イ・エ		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者が述べる労働の本質について理解を示し、それを自分の言葉でまとめようとする。	筆者が述べる労働の本質について理解を示そうとしている。	行動の観察
書く能力	筆者の論理展開を踏まつつ、「労働」に関する自分の考えを述べる。	自分の考えを論理的に展開することができる。	記述の分析
知識・理解	書くことに必要な文章の組み立てについて理解する。	書くことに必要な文章の組み立てを使用する方法を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	優れた表現に接してその条件を考えたり，書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして，ものの見方，感じ方，考え方を豊かにしようとする。	自らの思考の過程を整理し，論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。	行動の観察
書く能力	優れた表現に接してその条件を考えたり，書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして，ものの見方，感じ方，考え方を豊かにしている。	自らの思考の過程を整理し，論を統括する位置などを工夫して書いている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て，語句の意味，用法及び表記の仕方などを理解し，語彙を豊かにしている。	書くことに必要な文章の組立てについて理解している。	記述の点検

学習のねらい	筆者が述べる「多言語社会の可能性」について理解し、それに対する自分の考えを述べる。		
言語活動	出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。〔Bの(2)イ〕		
教材名	多和田葉子「夢は何語で見える？」	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	B 書くこと(1)イ・エ		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者が述べる多言語社会の可能性について理解を示し、それを自分の言葉でまとめようとする。	筆者が述べる多言語社会の可能性について理解を示そうとしている。	行動の観察
書く能力	筆者の論理展開を踏まえ、それに対する自分の考えをまとめることができる。	筆者の論理展開を踏まえつつ、自分の考えを過不足なく述べている。	記述の分析
知識・理解	書くことに必要な文章の組み立てについて理解する。	書くことに必要な文章の組み立てを使用する方法を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲	優れた表現に接してその条件を考えたり，書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして，ものの見方，感じ方，考え方を豊かにしようとする。	自らの思考の過程を整理し，論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。	行動の観察
書く能力	優れた表現に接してその条件を考えたり，書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして，ものの見方，感じ方，考え方を豊かにしている。	自らの思考の過程を整理し，論を統括する位置などを工夫して書いている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て，語句の意味，用法及び表記の仕方などを理解し，語彙を豊かにしている。	文章に描かれている情景を，文や文章，語句などから離れないようにして読み，人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。	記述の点検

学習のねらい	回想形式の物語の中で、語り手である「私」が、過去をどのように形象化し、前に進もうとしていくのか、語りの内容から読み解いていく。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	太宰治「富嶽百景」	配当時間	4
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ウ・オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	人物の心情や行動を理解し、場面の推移を捉え、「私」の抱いた気持ちについて考えようとする。	「私」の置かれている状況、「私」の考え方、心情の変化、場面の推移を理解し、自分の考えを持とうとしている。	行動の観察
読む能力	描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。	文体や語りの視点に注意して、作品世界の状況を把握し、人物の考え方とその変化を理解している。	記述の確認
知識・理解	作品の背景を把握するための知識を身につける。	作品の背景を把握するための知識を身につけている。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	行動の観察

学習のねらい	夢のこととして書かれた小説の、現実の世界とは異なるリアリティーの世界を読み取る。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	夏目漱石「夢十夜」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むことウ・オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	「夢」として構成された一見荒唐無稽なイメージの連なりの中に、人間の存在の奥深さを読み取り、ひとのころというものの不可思議について考えようとする。	比喩や象徴的表現に興味をもって読解しようとし、「夢」というもののふしぎな世界に興味をもち、この作品を通じて考えを深めようと努めている。	行動の観察
読む能力	「夢」の飛躍するイメージによってしか表現できない不可思議な心のあり方を、叙述を正確に追いつかんでいくとともに、「夢」として構成された作品の意味についても考える。	描かれている場面を的確に映像化し、具体的なイメージとして捉えられると同時に、「夢」の象徴的な表現から、その底に隠されている人間の根源的な願望についても考えをめぐらしている。	記述の確認
知識・理解	基礎的な語彙と文章に即した慣用句、詩的な表現技巧などに慣れ、文章表現に生かせる。	一語一語が丁寧に組み立てられた作品であることを理解し、その中に使われている個々の語のイメージを正確に読み取ることができるとともに、言葉に対する感覚を豊かなものにしていく。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察

学習のねらい	「人為」としての情報が高次の抽象化へと昇華していく論旨を理解し、「思考の純化」について理解する。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	外山滋比古「情報の『メタ』化」	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)エ・オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者が述べる「情報のメタ化」を理解しようとする。	筆者が述べる「情報のメタ化」について理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	引用事例および筆者の論理展開に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。	一次、二次、三次の情報の段階的抽象化について理解している。	記述の分析
知識・理解	読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。	読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価しようとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価している。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の点検

学習のねらい	我々に物事が顕現する二種類の現れ方，知覚的な現れ方と考えるという現れ方の違いについて論を追いながらまとめ，理解を深める。		
言語活動	様々な文章を読み比べ，内容や表現の仕方について，感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	大森荘蔵「見る－考える」	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)エ・オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者が述べる「知覚すること」と「考える」ことの相違を理解しようとする。	筆者が述べる「知覚すること」と「考える」ことの相違を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	引用事例および筆者の論理展開に着目し，筆者の主張を過不足なく読み取る。	筆者の観点を踏まえ，筆者が述べようとする主張の本質を理解している。	記述の分析
知識・理解	読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。	読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ，内容や表現の仕方について評価しようとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違いなく，過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ，内容や表現の仕方について評価している。	語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違いなく，過不足なく読み取っている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て，語句の意味，用法及び表記の仕方などを理解し，語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て，語句の意味，語句の用法，表記の仕方について理解している。	記述の点検

学習のねらい	「美」には人を沈黙させる力があるという筆者の主張を踏まえ、「感ずる」ことの難しさについて理解する。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	小林秀雄 「美を求める心」	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)エ・オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者が述べる「美を求める心」の本質を理解しようとする。	筆者が述べる「美を求める心」の本質を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	引用事例および筆者の論理展開に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。	筆者の論理展開に着目して、筆者が述べようとする内容を理解している。	記述の分析
知識・理解	読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。	読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価しようとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価している。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の点検

学習のねらい	「聞き手」の立場に立った、わかりやすく話すための工夫を施しながら、自分の考えや価値観を紹介する。また、「聞き手」は対話に発展するような「なぜ」の質問をする。		
言語活動	状況に応じた話題を選んでスピーチしたり、資料に基づいて説明したりすること。〔Aの(2)ア〕		
教材名	スピーチをする一対話型スピーチ	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	A 話すこと・聞くこと ア・イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	「わかりやすい話し方」のポイントを押さえ、その手順に従って自分のことを話そうとする。	「わかりやすい話し方」のポイントを押さえ、その手順に従って自分のことを話そうとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	目的や場に応じて、効果的に話す。	目的や場に応じて、効果的に話している。	行動の観察
知識・理解	話す内容に対する認識や態度を自らの内部に形成する。	話す内容に対する認識や態度を自らの内部に形成している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べようとする。	内容がよく伝わるように、資料や機器の使い方を工夫して分かりやすく話そうとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べている。	目的や場に応じて、効果的に話している。	行動の観察
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	話す内容に対する認識や態度を自らの内部に形成している。	行動の観察

学習のねらい	ブッククラブを通じて、「話し合い」のために必要な手順と目標を理解する。		
言語活動	反論を想定して発言したり疑問点を質問したりしながら、課題に応じた話し合いや討論などを行うこと。〔Aの(2)ウ〕		
教材名	話し合いをするーブッククラブ	配当時間	4
学習指導要領の指導事項	A 話すこと・聞くこと ウ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	話し合うことの目標を理解し、その目標に向かうための合意形成を積極的に行おうとする。	話し合うことの目標を理解し、その目標に向かうための合意形成を積極的に行おうとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	話し合いの流れの中における自分の発言が果たす役割を認識する。	話し合いの流れの中における自分の発言が果たす役割を認識している。	行動の観察
知識・理解	他者の発言を受けた上で、自己の発言を重ねていく。	他者の発言を受けた上で、自己の発言を重ねていくことができる。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとする。	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	話し合うことの目的が、合意を形成したり思考の深化を図ったりすることであることを認識している。	行動の観察
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	話すこと・聞くことにおける言語運用が、議論の流れの中で建設的なものとして機能している。	行動の観察

学習のねらい	発表のための手順とポイントを理解し、まとめたフリップに沿って自分の考えを述べる。		
言語活動	調査したことなどをまとめて報告や発表をしたり、内容や表現の仕方を吟味しながらそれらを聞いたりすること。〔Aの(2)イ〕		
教材名	プレゼンテーションをする－五枚のフリップを使って	配当時間	4
学習指導要領の指導事項	A 話すこと・聞くこと イ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとする。	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	考えの根拠を箇条で示したり、考えた過程を説明したりするなど、話の組立てや進め方を工夫し、伝えたいことがよく分かるよう話す。	考えの根拠を箇条で示したり、考えた過程を説明したりするなど、話の組立てや進め方を工夫し、伝えたいことがよく分かるよう話している。	行動の観察
知識・理解	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとしている。	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	目的や場に応じて、効果的に話そうとする。	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	目的や場に応じて、効果的に話している。	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとしている。	行動の観察
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	話すことに必要な、語句の構造的な仕組みについて理解している。	行動の観察

学習のねらい	反対側の立場を尊重しながら、ジャッジを納得させるための討論を行う。		
言語活動	反論を想定して発言したり疑問点を質問したりしながら、課題に応じた話合いや討論などを行うこと。〔Aの(2)ウ〕		
教材名	ディベートをするーマイクロディベート	配当時間	4
学習指導要領の指導事項	A 話すこと・聞くこと ウ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合おうとする。	課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合おうとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合う。	相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。	行動の観察
知識・理解	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断する。	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	課題を解決したり考えを深めたりするために、表現の方法や進行の仕方などを工夫して話し合おうとする。	課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合っている。	行動の観察
話す・聞く能力	課題を解決したり考えを深めたりするために、表現の方法や進行の仕方などを工夫して話し合っている。	相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。	行動の観察
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	話すことに必要な、語句の構造的な仕組みについて理解している。	行動の観察

学習のねらい	日常生活の中で出会うありふれた光景や体験を新鮮な感覚で捉えなおし、そこに広がる意味を随筆としてまとめる。		
言語活動	情景や心情の描写を取り入れて、詩歌をつくったり随筆などを書いたりすること。〔Bの(2)ア〕		
教材名	随筆を書く―一枚の写真から	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	B 書くこと ア・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぶとする。	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぶとしている。	行動の観察
書く能力	事実や事柄などを、対象に忠実にかつ正確に、読み手によく分かるよう具体的に説明する。	事実や事柄などを、対象に忠実にかつ正確に、読み手によく分かるよう具体的に説明している。	記述の分析
知識・理解	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やす。	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書こうとする。	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぶとしている。	行動の観察
書く能力	対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書いている。	事実や事柄などを、対象に忠実にかつ正確に、読み手によく分かるよう具体的に説明している。	記述の分析
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	記述の点検

学習のねらい	手紙の形式について理解を深め、知識を身につける。また、理解や知識を活用して、実際に手紙を書く。		
言語活動	相手や目的に応じた語句を用い、手紙や通知などを書くこと。〔Bの(2)ウ〕		
教材名	手紙を書く－依頼の手紙	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	B 書くこと ア・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	書く相手や、書く目的を実現するのにふさわしい文章の形態や文体、語句などを考え、適切に選ぶとする。	書く相手や、書く目的を実現するのにふさわしい文章の形態や文体、語句などを考え、適切に選ぶとしている。	行動の観察
書く能力	文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書く。	文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いていく。	記述の分析
知識・理解	主な常用漢字を文脈に応じて正しく書く。	主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	論理の構成や展開を工夫しようとする。	自らの思考の過程を整理し、論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。	行動の観察
書く能力	論理の構成や展開を工夫している。	自分の考えの妥当性を裏付ける、客観性や信頼性の高い資料を用い、自らの論が成り立つ根拠を示している。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	書くことに必要な文章の組立てについて理解している。	記述の点検

学習のねらい	調査や研究の成果を、レポートとしてまとめる。		
言語活動	出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。〔Bの(2)イ〕		
教材名	レポートを書く－見取り図をもとにして	配当時間	6
学習指導要領の指導事項	B 書くこと イ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	自らの思考の過程を整理し、論を統括する位置などを工夫して書こうとする。	自らの思考の過程を整理し、論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。	行動の観察
書く能力	自分の考えの妥当性を裏付ける、客観性や信頼性の高い資料を用い、自らの論が成り立つ根拠を示す。	自分の考えの妥当性を裏付ける、客観性や信頼性の高い資料を用い、自らの論が成り立つ根拠を示している。	記述の分析
知識・理解	書くことに必要な文章の組立てについて理解する。	書くことに必要な文章の組立てについて理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	論理の構成や展開を工夫しようとする。	自らの思考の過程を整理し、論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。	行動の観察
書く能力	論理の構成や展開を工夫している。	自らの思考の過程を整理し、論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	書くことに必要な文章の組立てについて理解している。	記述の点検

学習のねらい	意見文を書く基本を学習する。また、話し合いや相互批評を通して、自らの問題意識のありようを自覚する。		
言語活動	出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。〔Bの(2)イ〕		
教材名	意見文を書く－新聞投書	配当時間	6
学習指導要領の指導事項	B 書くこと イ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	身の回りや社会に目を向け、気づいたことに対する意見を積極的に文章にまとめる態度を身につけようとする。	身の回りや社会に目を向け、そこから問題を発見しようとしている。	行動の観察及び発言の確認
書く能力	文章の組み立てや題名の付け方に留意して、わかりやすい文章を書く力を身につける。	書かれた投書が、教科書の「投書を書くためのポイント」をおおむね満たしている。	記述の確認
知識・理解	不特定多数の人に読まれることを意識して、自分の意見をその根拠となった事実や体験を交えながら文章にまとめる。	自分の意見とその意見を裏づける事実や体験が述べられている。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめようとする。	文の組立てや進め方を工夫して書こうとしている。	行動の観察及び発言の確認
書く能力	論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめている。	自分の考えが、確実な根拠に支えられ、前後矛盾することなく論理的に展開している文章を書いている。	記述の確認
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	書くことに必要な文章の組立てについて理解している。	記述の確認

学習のねらい	統計資料の読み方を学習し、それに対する自分の考えをわかりやすく書く。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	情報を読むー統計資料の読み方・扱い方	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C 読むこと オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	さまざまなメディアを利用して必要な情報を収集し、その情報を活用して自分の考えを積極的に述べようとする態度を身につける。	図書館やコンピューターを利用した情報の収集ができ、その情報が伝えようとする内容を理解しようとしている。	行動の観察・記述の確認
読む能力	アンケート調査結果や統計資料に示されたグラフや表から得られた情報に基づいて、自分の意見を文章にまとめることができる。	グラフや表から読み取った内容を数値で示して、自分の考えを述べる事ができている。	記述の確認
知識・理解	アンケート調査結果や統計資料に示されたグラフや表の分析方法を理解する。	グラフや表から特徴的な傾向をつかむことができる。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	幅広く本や文章を読み、情報を得て用いようとする。	様々な情報の意味を捉え、疑問に思ったり思索したりしようとする。	行動の観察・記述の確認
読む能力	幅広く本や文章を読み、情報を得て用いている。	様々な情報の意味を捉え、それに基づいて自分の意見をまとめる。	記述の確認
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	情報の形態による特色について理解している。	記述の確認

学習のねらい	広告の構成について理解し、その役割表現の特色について理解することができる。		
言語活動	現代の社会生活で必要とされている実用的な文章を読んで内容を理解し、自分の考えをもって話し合うこと。〔Cの(2)ウ〕		
教材名	広告を読むー実用的な文章	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C 読むこと オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	実用的な文章の意図を捉え、共感したり、疑問に思ったり、思索したりしようとする。	実用的な文章の意図を捉え、共感したり、疑問に思ったり、思索したりしようとしている。	行動の観察
読む能力	広告のねらいや表現の仕方について理解する。	広告のねらいや表現の仕方について理解している。	行動の観察
知識・理解	広告表現の特色について理解する。	広告表現の特色について理解している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとする。	実用的な文章の意図を捉え、共感したり、疑問に思ったり、思索したりしようとする。	行動の観察
読む能力	幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	様々な情報の意味を捉え、それに基づいて自分の意見をまとめる。	行動の観察
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	情報の形態による特色について理解している。	行動の観察